

宇都宮民報

—発行—
日本共産党
宇都宮市委員会
弥生1丁目7-11
旭コーポ1階
TEL634-8722

政治協力の進めるべし、
真実をつたえ希望をこぼす
しん 赤旗
口 刊月 3497円
口 購年 930円

コロナ対策 子育て支援を充実

マイナンバーカード課題多く 日本共産党は反対 令和2年宇都宮市一般会計補正予算

国の新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算が成立したことを踏まえ、これらに係る国庫補助事業や本市独自の支援策が提案され、各委員会に付託・審議された結果賛成多数で可決成立しました。日本共産党はマイナンバーカードに反対する立場からこの予算には反対をしました。

マイナンバーカード取得者に対する上乗せポイント付与事業

国のマイナポイント事業にあわせて市独自のポイント1000円分の上乗せポイントを付与する「行政改革推進費」として5,500万円が盛り込まれました。この機会にカードの普及促進をはかるのがねらいです。

地域公共交通における利用環境向上策

バス・タクシー事業者が行う感染症対策等への支援のため「公共交通利用促進費」が

9,620万円追加計上されました。



18(いいわ)応援給付金

17歳・18歳の児童がいる世帯に対する「家庭子育て支援費」宇都宮17(いいな)・18(いいわ)応援給付金として9,100万円(所得制限あり・一人1万円)が追加されました。給付金の概要は以下の通りです。

扶養親族等の数	所得制限限度額	(収入額の目安)
0人	622万円	833万円
1人	660万円	875万円
2人	698万円	917万円
3人	736万円	960万円

以降、扶養人数が1人増えるごとに、38万円を加算

ひとり親世帯臨時特別給付金

給付事業費(1家族50万円)として4億7,500万円が追加計上されました。給付金の概要は下段の表の通りです。

妊婦に対するPCR検査費用の助成

妊婦が、かかりつけ産婦人科医と相談し、PCR検査を希望する場合に、分娩前に1回限り2万円を上限に検査費用を助成する。国の方針とはいえ、6月議会での一般質問でPCR検査を妊婦さんにも拡大すべきと質問した天谷議員にも応える内容になっています。



他には、中小企業等に対する新たな支援策(家賃支援助成金)、園芸作物生産振興費、文化会館管理運営費、地域学校園運営費、保健衛生費等が追加計上されました。



対象者	支給金額
児童扶養手当受給世帯等への給付【基本給付】	
① 令和2年6月分の児童扶養手当の支給を受けている者	1世帯5万円
② 公的年金等の受給により、児童扶養手当の支給を受けていない者	(第2子以降1人につき3万円加算)
③ 新型コロナの影響を受けて家計が急変し、直近の収入が児童扶養手当支給対象水準に下がった者	
収入が減少した児童扶養手当受給世帯等への給付【追加給付】	
④ ①②の対象者のうち、新型コロナの影響を受けて家計が急変し、収入が大きく減少しているとの申出があった者	1世帯5万円

消費税率の引き下げを国に求める意見書を提出

日本共産党・未来・緑の未来・こころの会・新風の議員9名により意見書が提出されました。理由として「新型コロナウイルス感染症が暮らしや経済に与えた影響はリーマン・ショック時を超えており、消費税減税こそ経済危機を開する道だと思われることから、早急な対策を講ずるよう国に強く要望する。」としました。

採決の結果反対多数で意見書は否決されました。

宣伝は続くよどこまでも

原ちづる議員が昨年の選挙前からスタートした「オレンジ宣伝」。ヨークベニマル若松原店近くの常設ステージで、毎週木曜日・17時半より、現在は野村せつ子県議と共に継続中です。雀北支部の皆さんが毎回プラスターを持ちたり、ひっきりなしに通る車に手を振ったりと元気に参加して下さっています。



請願問題 ご心配をおかけしております

これまでの経緯

新聞報道にもあるように、6月議会において問題となっていた請願「仮称大谷スマートーC計画中止又は、建設場所変更に関する請願」について、我が会派の天谷みえ子市議も紹介議員として署名しており、読者のみなさんに大変なご心配をおかけしております。

【これまでの経過】

途中経過ではありませんが、この間の経過をご報告いたします。

◎5月26日
反対する会の代表N氏が、陳情として議会事務局に提出しようとしたが、本人持参でないため、受理されず。

◎6月1日
N氏とN氏から相談を受けた未来会派が、紹介議員があれば請願として提出可能であるとの見解を得たことから、請願に変更することを検討。

◎6月5日
未来会派の保坂栄次議員より、共産党でも紹介議員となるよう依頼を受ける。会派内で相談の上、地元で請願者とも面識あり、意向についてもうかがっていた天谷みえ子議員が紹介議員となることを決めた。

福田くみ子
(日本共産党宇都宮市議員団長)



◎6月19日
建設常任委員会において、紹介議員の一人である議員が、「請願者に対し直接本人確認及び内容確認していない」ことが、問題視される。

議長より、請願者本人の確認を取るよう求められる。

◎6月22日
請願者本人が入院中で直接確認がとれなかったため、N氏に請願書について本人の了解を得たものかどうか確認をする。

◎6月23日
全員協議会が開かれ、5人の紹介議員が、当該請願の紹介議員となった経緯の説明を求められる。

◎6月25日
再度、全員協議会が開かれ、請願に切り替える際、保坂栄次議員(未来)が、「陳情」を「請願」と書き換え、本人に代わって押印したことが判明する。

◎6月26日
5人に倫理基準違反の疑いがあるとして、市議会倫理条例に基づき倫理委員会設置が決まる。

◎6月29日
5人に対し懲罰動議が出される。

◎7月1日
本会議において、保坂栄次議員に対する辞職勧告決議が採択。(自民・公明・など29名が賛成。共産3、市民連合8、未来2、緑1は退席)

また、懲罰特別委員会の設置についてははかられ、その際当該議員の弁明の機会が設けられた。

懲罰特別委員会の設置の際の、天谷議員の弁明の要旨を掲載いたします。

そもそもこの請願については、地権者でもある東京在住のKさんの依頼で会の代表であるN氏が陳情として準備した。その際、保坂議員が陳情を請願に書き変えたことや、請願者の印鑑を押したことは知らされていなかった。

陳情として提出するためにはご本人が持参しなければならぬと言われ、病弱で宇都宮には来れないKさんの思いを届けたいと思ったN氏が保坂議員に相談したところ、紹

介議員があれば請願としての提出も可能ということがわかり、請願という形になったと聞いている。

私は共産党の会派の中でもスマートインターチェンジの地元に住んでいること、Kさんのことも昔から知っているということと紹介議員として名前を書かせていただいた。

私はご本人から印を押して戻されたものと信じて紹介議員になった。

私は地域の方々の声をできるだけ議会に届けたいという社会正義のために働いたつもりだ。



日本共産党宇都宮市議員団 定例無料

市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅
道路・交通安全・その他なんでも・・・

◇日時 7月11日(土) 午後2～4時
9月12日(土)

◇会場 宇都宮市総合コミュニティーセンター

◇連絡先 日中 TEL632-2622 (党市議員団控室)
土・日・夜間 TEL634-8722 (党市委員会)

相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡をお願いします。
秘密厳守します。弁護士が協力します。

※8月の相談はお休みします。